

# Hockey World League Semi - Final (Johannesburg/RSA)

大会名	Hockey World League Semi - Final	日付	2017年7月16日
場所	Wits University, Parktown(RSA)	天候	晴れ
試合	第4戦 (予選リーグ最終戦)	通算結果	2勝1分1敗

Country	RESULT	Country
日本 JAPAN 世界ランキング11位	0	3 ドイツ GERMANY 世界ランキング7位
	1P 0 - 0	
	2P 0 - 1	
	3P 0 - 1	
	4P 0 - 1	

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
✓	2	浅井 悠由	
✓	3	錦織 えみ	
✓	5	及川 栞	
38	6	内藤 夏紀	
✓	7	一谷 麻実	
✓	10	湯田 葉月	C
✓	11	一谷 奈歩	
4	16	野村 香奈	
3	17	永井 葉月	
✓	18	真野 由佳梨	
5	19	加藤 彰子	
✓	20	清水 美並	
✓	21	永井 友理	
4	22	狩野 真美	
✓	23	瀬川 真帆	
5	25	河村 元美	
	27	田中 秋桜	GK
監督	アンソニー ジェイムス ファリー		
UMPIRE	AZMAN NOR Hafizah(MAS)		

Start	No.	Name	備考
	1	SCHNEIDER Lisa	GK
✓	4	LORENZ Nike	
✓	9	GRÄVE Elisa	
✓	12	STAPENHORST Charlotte	
7	13	MARTIN PELEGRINA Teresa	
✓	14	MÜLLER-WIELAND Janne	C
8	16	HEYN Naomi	
✓	17	TESCHKE Jana	
	18	ALTENBURG Lisa	
✓	20	CIUPKA Julia	GK
✓	21	HAUKE Franzisca	
✓	22	PIEPER Cecile	
✓	23	MÄVERS Marie	
3	26	NOBIS Camille	
✓	28	NOTMAN Nina	
5	30	GRANITZKI Hanna	
✓	31	WORTMANN Amelie	
7	32	HUSE Viktoria	
監督	MÜLDERS Jamilon		
UMPIRE	ESKINA Elena(RUS)		

Country	Min	Name	Action	Score
GER	23	STAPENHORST Charlotte	FG	0-1
GER	34	LORENZ Nike	PG	0-2
GER	46	PIEPER Cecile	FG	0-3

Country	Min	Name	Action	Score

**1st Period**  
日本のセンターパスにより前半戦が開始される。立ち上がり、日本は積極的に前線でプレスを仕掛け、高い位置でのボール奪取を狙う。対するドイツは日本の執拗なプレスを抜け出そうと大きなパス展開で揺さぶりをかける。一進一退の攻防が続く中、最初にチャンスをつかんだのはドイツ。11分、ドイツの左サイドからのフリーヒットがサークル中央付近を通り、1対1の状況を創られ、インターフェアのファウルによりPCを取得される。これを防衛して最初のピンチを脱する。第1ピリオドは両者無得点で終了。

**2nd Period**  
立ち上がり早々、ドイツのアウトレットのパスミスで#22狩野が、サークル中央付近でボールを奪い、GKと1対1となる。そのチャンスでスイープシュートを打つが、セーブされ絶好の得点機を逃す。その後も日本の攻撃の時間帯が続く。21分には右サイドからのフリーヒットで#2浅井がサークル中央付近を通し、それをレシーブした#23瀬川が得意のドリブルで突破を試みたところ、相手DFのファウルを誘い、PCを取得する。#17永井葉月が強烈なヒットシュートを放つが、ドイツの第1ブロッカーにセーブされる。その直後の23分、日本はターンオーバーからパスとドリブルで崩され、サークル侵入を許し、ドイツ#12、STAPENHORST Charlotteにヒットシュートを打たれ先取点を奪われる。前半を0-1で折り返す。

**3rd Period**  
立ち上がり早々、ドイツのスクープミスでセンターライン付近で拾った#23瀬川が右サイドの#21永井友理にパスをつなぎ、ゴール前にセンタリングを通す。惜しくもシュートは出来ず同点に迫りつつチャンスを逃す。逆に、34分、ドイツは大きなパス展開で左から右へとボールを回し、日本のサークル付近まで運び、ドリブルでサークル侵入。キックのファウルによりPCを取得される。これを、ドラッグシュートにより決められ2点差とされる。その後、38分、日本はドイツのパスをセンターライン付近でインターセプトした#16永井葉月がサークルトップ付近にリードしていた#19加藤に絶妙のパスを送りGKと1対1となり、PSの判定。1点を返す最大のチャンスを迎える。しかし、それに対しドイツはビデオ判定を要求。PSの判定は覆りドイツボールのフリーヒットとなる。その後も日本は、得意のパス攻撃からサークル侵入を図り、得点チャンスを創るが、ゴールゲットには至らない。

**4th Period**  
なんとしても得点が欲しい日本は高い位置でボールを奪うため、前線から激しいプレスを仕掛けるが、奪うことが出来ない。逆に46分、ドイツが得意としている右サイドの攻撃でサークル侵入を許し、リバースシュートから痛恨の3点目を奪われる。その後は互いに一進一退の攻防戦を繰り広げ、タイムアップ。ボールポゼッションでは、ほぼ五角の戦いをしながらもスコアは0-3と完敗であった。この結果により、日本はA組3位となり、B組2位のアメリカと明後日(7月18日)、準決勝進出をかけて対戦することとなる。

日本	1	PC数	2		
	7	シュート数	5		ドイツ